

### 3 平成 26 年産入札取引に係る平成 26 年度協会業務・財務資料

(大豆入札取引業務関係部分の抄録)

(注：大豆入札取引は、大豆取引年度（当該年の 11 月～翌年 10 月）に実施されるため、会計年度は平成 26、27 年度にまたがることとなる。)

(1) 平成 26 年 3 月 20 日に開催した平成 25 年度第 2 回理事会において、平成 26 年度（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）事業計画及び収支予算案を議決した。そのうち、大豆入札取引業務関係部分は、以下のとおりである。

#### 平成 26 年度事業計画

##### 第 1 事業計画

(前略)

また、国民の食生活に不可欠な食料である国産大豆については、現在の食品用としての需要量に対する生産量が約 20%と安定供給には程遠い水準であるため食品業界・消費者等のニーズに対応した良質な国産大豆の供給の拡大が急務となっている。

このような状況の中、平成 26 年度は、(中略) ②国産大豆の需要の拡大を図るための価格形成視施設の開設・運営及び情報の収集・提供のための事業を公益目的事業と位置付け事業を実施する。

具体的には、(中略) 国産大豆については、入札取引の透明化・適正化の観点から中立的な第三者機関として当協会が入札の取引の実施主体となって市場を開設・運営し入札結果の迅速な公表を行うこと等を行う。

##### 第 2 会議等の開催

(前略)

6 大豆入札取引委員会

7 取引監視委員

(後略)

##### 第 3 (略)

##### 第 4 国産大豆の需要の拡大を図るための価格形成施設の開設・運営及び情報の収集・提供事業

###### (1) 大豆価格形成安定化事業

国産大豆の入札取引の実施主体として市場を開設し、入札取引の透明化・適正化を図るため、次の事業を実施する。

###### ① 大豆入札取引委員会の開催

- ② 取引監視委員会の開催
  - ③ 入札の実施
  - ④ 入札結果の公表
  - ⑤ 指標価格の作成・提供
  - ⑥ 入札取引を円滑に実施するための情報の提供
- (後略)

(2) 平成 27 年 6 月 19 日に開催した平成 27 年度定時評議員会において、平成 26 年度事業報告及び平成 26 年度決算案を議決した。そのうち、大豆入札取引業務関係部分は、以下のとおりである。

## 平成 26 年度事業報告

### 第 1 事業報告

(前略)

また、国民の食生活に不可欠な食料である国産大豆については、現在の食品用としての需要量に対する生産量が約 20%と安定供給には程遠い水準であるため食品業界・消費者等のニーズに対応した良質な国産大豆の供給の拡大が急務となっている。

このような状況の中、平成 26 年度は、(中略) ②国産大豆の需要の拡大を図るための価格形成視施設の開設・運営及び情報の収集・提供のための事業を公益目的事業と位置付け事業を実施した。

具体的には、(中略) 国産大豆については、入札取引の透明化・適正化の観点から中立的な第三者機関として当協会が入札の取引の実施主体となって市場を開設・運営し入札結果の迅速な公表を行うこと等を行なった。

### 第 2 役員会等の開催

(略)

### 第 3 事業実施の概要

(前略)

#### 2 国産大豆の需要の拡大を図るための価格形成施設の開設・運営及び情報の収集・提供事業

##### (1) 大豆価格形成安定化事業

国産大豆の入札取引の実施主体として市場を開設し、入札取引の透明化・適正化を図るため、次の事業を実施した。

##### 1) 大豆入札取引委員会の開催

第 46 回 平成 26 年 9 月 24 日 (水)

- ・出席者 8 名（委員総数 9 名）
  - ・付議された議案  
25 年産大豆の入札取引の実施状況
- 第 47 回 平成 26 年 12 月 12 日（金）
- ・出席者 7 名（委員総数 9 名）
  - ・付議された議案  
26 年産大豆の入札取引の計画及び運営方針（案）

2) 取引監視委員会の開催

- 第 30 回 平成 26 年 9 月 5 日（金）
- ・出席者 8 名（委員総数 9 名）
  - ・付議された議案  
入札取引の監視業務の実施状況
- 第 31 回 平成 26 年 12 月 18 日（木）
- ・出席者 9 名（委員総数 9 名）
  - ・付議された議案  
26 年産取引の監視方針（案）

3) 入札の実施

平成 25 年産

- 第 8 回 平成 26 年 4 月 16 日
- 第 9 回 平成 26 年 5 月 16 日
- 第 10 回 平成 26 年 5 月 28 日
- 第 11 回 平成 26 年 6 月 11 日
- 第 12 回 平成 26 年 6 月 25 日
- 第 13 回 平成 26 年 7 月 30 日

平成 26 年産

- 第 1 回 平成 26 年 11 月 26 日
- 第 2 回 平成 26 年 12 月 17 日
- 第 3 回 平成 27 年 1 月 21 日
- 第 4 回 平成 27 年 2 月 18 日
- 第 5 回 平成 27 年 3 月 18 日

なお、入札日当日に 3 名の取引監視委員が立ち会い、取引が公正に行われているか監視するとともに、落札を保留すべきロットの有無を検討した。その結果、落札を保留すべきロットはなかった。

4) 入札結果の公表

入札取引が実施された月の入札取引結果について普通大豆・特定加

工用大豆別に産地、粒別、品種銘柄別に上場数量、落札数量、落札価格等の資料を作成し、各月の末日に入札取引参加者、報道機関に提供するとともに協会ホームページで公開した。また、平成 25 年産入札取引年報（冊子）を作成し、入札取引参加者、関係機関・団体に配付した。

5) 指標価格の作成・提供

産地品種銘柄ごとに、当該月の落札価格に基づいて入札取引以外の取引目安となるための価格情報を算定し公表した。

6) 入札取引を円滑に実施するための情報の提供

大豆入札取引の仕組み、国産大豆供給状況の推移、産地品種銘柄別落札価格の推移、外国産大豆と国産大豆の価格差推移状況等を入札取引関係者をはじめ、実需者、産地関係者等に協会ホームページを通じて情報提供した。

(後略)

**大豆価格形成安定化事業収支計算書**  
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1 収入

(単位：円)

科目	26年度予算額	26年度決算額	増減	備考
大豆価格形成安定化事業補助金	25,718,000	25,718,000	0	
大豆価格形成安定化事業運営拠出金収入	8,450,000	6,840,618	1,609,382	
当期収入合計 (A)	34,168,000	32,558,618	1,609,382	

2 支出

(単位：円)

科目	26年度決算額	26年度予算額	比較増△減	備考
入札業務等に要する手当	9,300,000	8,938,160	361,840	入札業務等に要する経費
給与手当	8,000,000	7,796,250	203,750	
社会保険料	1,300,000	1,141,910	158,090	
管理運営等に要する経費	24,868,000	23,620,458	1,247,542	システム運営等 管理運営に要する経費
事業費	19,776,680	19,128,844	647,836	
会議費	70,000	0	70,000	
通信運搬費	500,000	370,192	129,808	
借上費	9,000,000	7,983,600	1,016,400	
システム導入費	4,033,760	3,535,260	498,500	
システム改良費	1,368,720	2,326,320	△ 957,600	
システム運営費	4,210,000	4,468,643	△ 258,643	
光熱水料費	100,000	47,510	52,490	
印刷製本費	400,000	319,095	80,905	
消耗品費	94,200	78,224	15,976	
旅費	569,720	347,460	222,260	
謝金	940,000	680,000	260,000	
賃金	2,226,000	2,122,630	103,370	
役務費	460,000	554,904	△ 94,904	
雑役務費	895,600	786,620	108,980	
当期支出合計 (B)	34,168,000	32,558,618	1,609,382	
当期収支差額 (A) - (B)	0	0	0	